

山中比叡平里山倶楽部 第51回幹事会 議事録 案

2015年8月23日 1時半～3時45分

出席 田畑、藤田、最上、大津、影山、北原、林、更家 8名

1. 国交付金による第7回イベント（8月23日）

参加者は合計25名

午前の講演、神戸大学黒田慶子教授—松枯れナラ枯れの専門家—による「里山を次世代に渡すための管理方法」は出席15名。内容の濃い充実した講演であった。講演は、もっと多くの聴衆に聞いてもらわないともったいない。いくつかの方策が話し合われた。森林整備の専門家の見る里山とわれわれの遊ぶ里山とは違うと言う話になった。

午後は真ん中広場の整備。スタードームの組み上げとツリーハウスづくり。参加者24名。ツリーハウスは孟宗竹を二分して床を敷いた。今後、床材を補充し、しっかりと結束して子どもに安全なものに仕上げる。スタードームは補強材を5本入れて完成した。文化祭の時にもつくって幼保育園に進呈したいと話し合われたが、ちょっと息切れ。文化祭では椎茸ホダ木販売はやることになった。

2. 第8回イベント（9月13日）

清水勇さんの講演は午前に、作業を午後にするようになった。サワガニの沢にはトチノキを植えたいし、蜂蜜の試食会についても話し合った。

3. イオン環境財団助成金来年度分に応募した。

4. 今年度のイオン環境財団助成金の報告書などについての連絡

住民交流センターのシカ対策。シカの侵入は南からネット下をもぐったりネットに穴を開けたりによるものであることがわかったので、その対策を講じる。交流センター利用者に門の戸締まりを訴える文を掲げることにする。

5. イオン環境財団助成金による秋の植樹会

日程と場所を小学校と調整する（田畑代表、藤田副代表が担当）。

6. やまびこ圃場について

雑草対策が不十分である。自治会館関係者にも作業を依頼できないか。
圃場隣りの花壇は、大津市 花と緑のまちづくり推進事業 活動参加グループに認定された。花壇の広さは 59.1 平米、補助金 25,000 円が支給される。報告は 11 月 2 日から来年 2 月終わりまでに提出する。

7. 国交付金予算

追加を申し込むことにした。会計の締めを去年は 12 月 10 日だったが、1 月までに伸ばして、あと 2 回のイベントを入れる。

会計影山と事務局最上から予算の執行状況について報告を受けた。交付金の当処分の振込を受けても人件費の支払い消耗品資機材などの立替分を精算すると赤字となる。

当面の消耗品・資材の購入についても話しあった。幹事が里山作業で必要とする物品については、夫々が適当と思われるものを購入すればよろしい。

イベント参加者記録の報告

皇子山中学生チャレンジウィーク。男子 5 人。スケジュールについて次回に案を出す（田畑代表）。雨の時の室内での講義や作業についても考える。

8. 青い鳥の谷の整備

8 月 26 日の草刈り作業は台風一過のために延期。9 月 2 日（水）10 時から。草刈りの前にサワガニの沢を下見してゴミ処理の目処を付けたい。
4 箇所の手は最上が作製済み。現地に順次設置する。

9. 植樹計画

藤田と大津が案を練って次回に報告する。

次回（第 52 回）幹事会は 9 月 8 日。